

東京医療学院大学 保健医療学部

2024(令和6)年度 学校推薦型選抜入試 小論文問題

次の文章を読み、設問に答えなさい。

私は乗り物に乗ると、車窓を流れる風景を見るのが好きだ。

子供の時の癖でもあるが、初めて汽車に乗った時、窓辺に頬杖をついて視界にひろがる風景を見てワクワクした。

大人になった今でも、ヨーロッパへむかう飛行機の小窓からロシアのツンドラ地帯に道や建物を見つけると、どんな人が生活をしているのか、もし自分がここが故郷であったらどんな人生になっていたかと思う。

移動する乗り物で思考すると、脳の動きがすこぶるいいという人が多い。

旅はさまざまなものを人間に与えるが、旅は同時に、自分とは何か、を考える機会にもなる。若い時は特にそれが顕著である。誰一人知らぬ、言葉もわからぬ土地で、孤独を感じれば、まず自分っていったい何なのだ、と思わざるを得ない。日本にいて家族、友人と過ごしていれば、そんな機会にはなかなかめぐり逢わない。

車窓を開ければ風も入って来る。風は季節、時間の流れも教えてくれるし、五感を鍛える。だから私は窓の開かない高層ビルに暮らしている人は人間の暮らしをしていないと考える。四六時中、そこで育った子供は情緒を身体に育むことが難しいと思う。そういうビルで日々働いている者もしかりだ。

そんなことはないって？

五十年過ぎればわかる。いや三十年でもいいだろう。

この頃、人間が善しとしてみなしている行動でも、それは間違った道を進んでいることがあるとようやくわかりかけてきた。

私は歯科医院へ通ったり、先輩に逢いに行く時には電車に乗って行く。

歯科医院は東京の阿佐ヶ谷にあるので御茶ノ水から中央線に乗る。

先日、乗車し座った席のむかいとこちらに七人ずつの乗客がいて、(私を除いて)十三人中八人が携帯電話、スマホを真剣な目で見ている。外は青空で少し暑い綺麗な積乱雲が光っていた。そんなことを勿論、彼等は知ったこっちゃない。

奇妙なことに彼等は皆同じ表情で同じ目の色をしていた。ごく普通の、日本の日常の風景であると大半の人は思うかもしれないが、私には異様に映った。

スマホの中には何があるのか？

データがあるだけでしかない。そのデータを或る種の答えと錯覚している人間が大半である。検索は、押す作業と引っ張られる作業をしているだけのことで、到達点と思われる

所にあるのは答えではなく、状況もしくは今のところ、これですと伝えているだけのことだ。

これを若者、子供がやると、それが正解などと思ってしまう。無知とはおそろしいものなのである。

企業、会社でもパソコンは必需品である。一人のデスクに一台パソコンがあり、それにむかってキーを打つことを大半のビジネスマンは仕事と錯覚している。そんなもん仕事であるわけがない。なぜならキーを打って、何かに引っ張られているだけだからである。

仕事にとって一番大切な情熱、誇り、個性がパソコンの中に隠れているはずがない。

世界を変える素晴らしいアイデア、そして誤りを発見し修正できる能力はすべて、人間の本能に近い部分から誕生する。

朝から晩までパソコンの中にある情報、状況に身を置くことは間違いなのである。そんなものはコンピューターにさせておけばいいのである。

では肝心は何か？

五感で目の前の世界を読み、判断し、何をすべきかを決定していくことだ。

「五感ですか？」

そうです。文字を自分の手で書き、書きながら思考をくり返して行き、壁にぶつかればそこでまた考え続ける。誰も引っ張ってくれない行動の中にだけ、個性、次代をより良くする道の扉、鍵が隠れているのである。

私の先輩の会社が、週に一日、三時間はパソコンを閉じよ、という仕事のやり方を試行している。考えた末か、いや一番大切な「人間の勘」がそれを決定させたのではと思う。

若者よ。そういう企業の門を叩きなさい。そこに必ずまぶしい未来があるはずだ。

伊集院静 おとなの流儀4 「許す力」講談社（2014年4月25日第三刷）より一部改変

【設問】

問1. 電車の中の風景が著者には「異様に映った」のはなぜか、著者の考えをまとめて150字程度で述べてください。

問2. あなたの普段のスマートフォンやパソコンの使用状況をふまえ、著者が述べていることに対するあなたの考えを600～650字以内で述べてください。